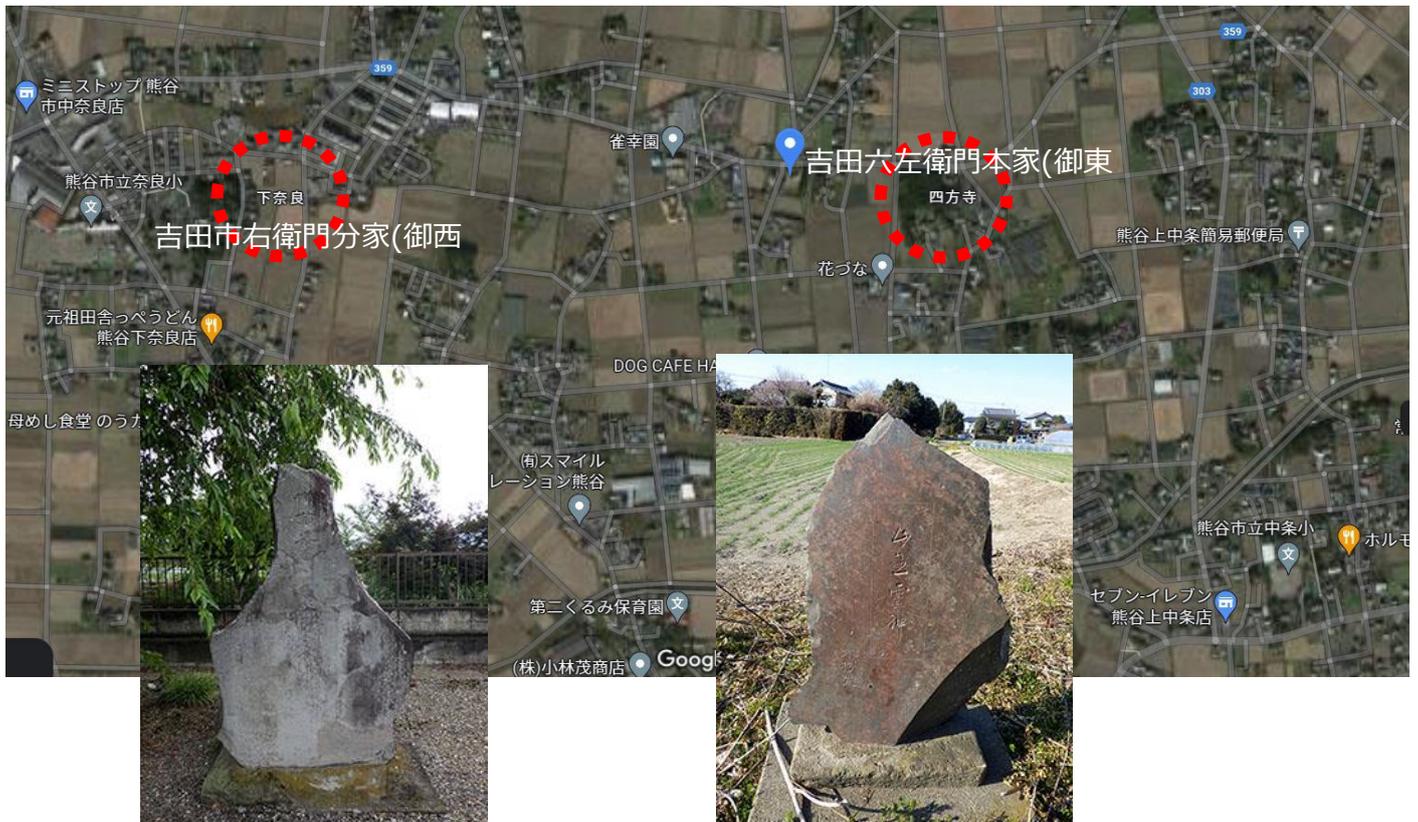


## 吉田家の本家と分家



### 『吉田六左衛門本家』 御東 奈良村大字四方寺（現熊谷市）

名主。奈良村大字四方寺（現熊谷市）で代々名主を務める。吉田家は、戦国期に忍藩主の成田下総守長康に仕え、忍城落城後の天正期に四方寺に土着したと伝えられる。屋敷一町、内構へ堀から外構へ 300 町歩、石数五百石以上あり、寛永年間より酒造を行い、「四方春」を醸造した。村人は「六ぜんさま」と尊称し、六左衛門本家を「御東」とも呼んだ。初代元国、2 代宗道、3 代宗栄を経て分家し、13 代宗孝、14 代六郎、15 代六左衛門。

<http://www.kumagaya-bunkazai.jp/museum/ijin/yosidarokuzaemon.htm>

### 『吉田市右衛門初代宗以』 下奈良の御西

3 代宗栄から分家した茂左衛門を「茂ぜんさま」「御西」と呼んだ。6 代宗重の第 3 子市十郎が享保 11 年下奈良に分家し、代々社会事業に尽くした吉田市右衛門初代宗以となる。

吉田家は代々“市右衛門（いちえもん）”を名乗り、初代から宗以(1703-1792)－宗敬(1739-1813)－宗敏(1783-1844)－宗親(1816-1868)－宗載(1845-1868)と五代にわたる。

2 代宗敬は村内や近村にかかる橋を石橋に架け替えたり、浅間山の噴火の時に被害者に援助物資を送ったりしました。3 代宗敏は用水や河川の改修のためのお金を上納したり、備前掘用水の大改修を行ったり、飢饉への援助を行ったりしました。5 代宗載は凶作の時の食糧援助や教育施設への寄付などを行いました。

<http://www.kumagaya-bunkazai.jp/museum/ijin/yosidaitiemon.htm>

## 下奈良 集福時『吉田市右衛門』宗敬(1739-1813) – 宗敏(1783-1844)墓



### 集福寺

所在地：〒360-0802 埼玉県熊谷市下奈良 5 5 1

### 『備前堀再興記碑』吉田市右衛門宗敏への感謝

備前堀は、慶長 9 年（1604）に関東代官頭伊奈備前守が江戸幕府の命を受けて開削した用水路で、現在は、本庄市山王堂地区で利根川より取水し、深谷市、熊谷市へ流れ、福川に合流し利根川へと流れます。天明 3 年（1783）の浅間山の大噴火により、岩石や流木などで川底は平均 2 メートルも上がり、度々洪水となり、妻沼地域では使用不能となりました。これを幕府に願い出て再興したことを記念して、天保 4 年（1833）建立したのが本碑です。石材は輝石安山岩（根府川石）。再興には、吉田市右衛門宗敏が、備前渠用水の復興のために奔走し、金 200 両の大金を寄付しており、碑文には吉田市右衛門宗敏への感謝の内容が、江戸の名石工「窪世祥」により刻まれています。



<http://www.kumagaya-bunkazai.jp/museum/jousetu/sekizo/130.htm>

## 熊谷の銘菓 五家宝

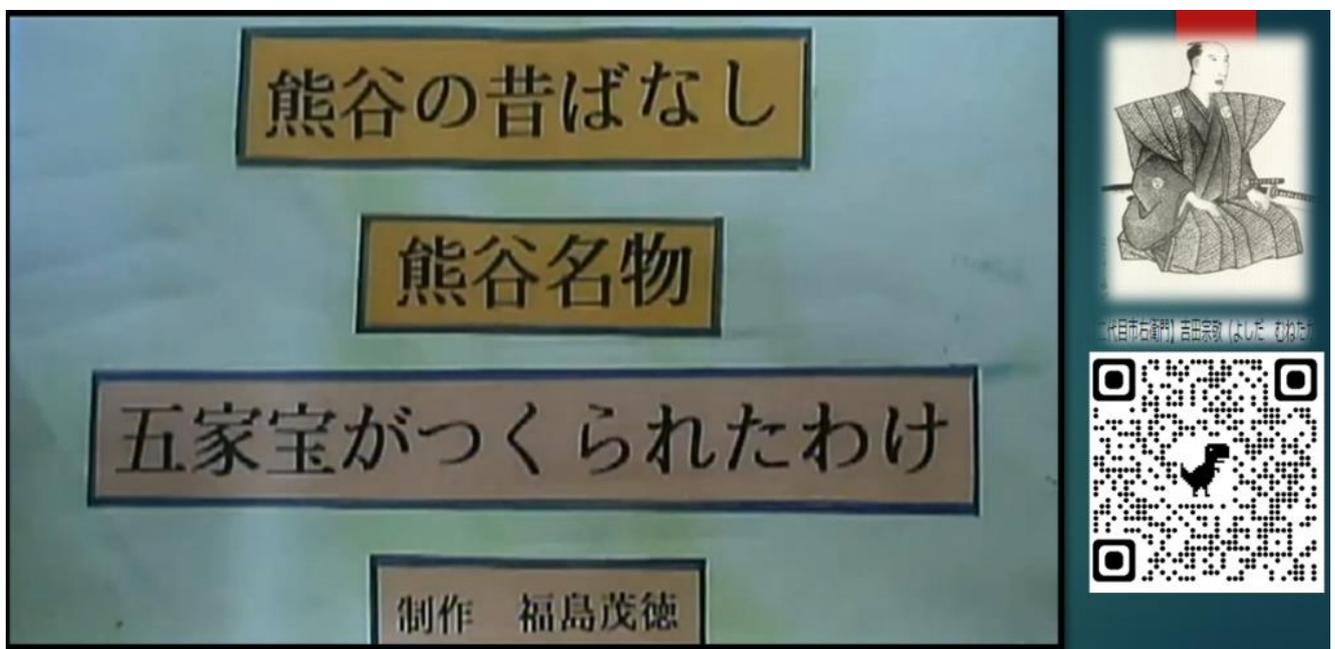
江戸の頃より、熊谷の銘菓として親しまれている五家宝ですが、その由来は定かではありません。江戸時代後期の狂歌、洒落本の作家・大田南畝（蜀山人）の随筆「奴師勞之」に、安永期（1772～80）に將軍家治の日光社参に随行した際、道中に「五荷棒」と呼ばれる菓子があったこと、更に四十数年後、友人から「武州忍領北秩父辺の菓子」として、「五かぼう」というものを送られたと記しております。これが文献に見られる最古の記録ですが、現在の五家宝と同一のものであるかどうかは何とも言えません。当時は現在のようにもち米や砂糖等をふんだんに使うことは出来ませんから、味や食感等は大いに異なるものであったと思われます。五家宝の由来には諸説あり、①茨城県五霞村発祥 ②上州甘楽郡五箇村発祥 ③武蔵国不動岡発祥④水戸の銘菓"吉原殿中"を真似て熊谷で作られた等がありますが、確証はありません。江戸中期以降に北関東で作り始められたということだけは確かなようですが…。五家宝が現在の味、形になったのは、明治期以降と言われております。天保14年、玉井村（現熊谷市）に生まれた高橋忠五郎なる人物が、原材料や製法に改良を加え、現在の五家宝の基を作ったということです。

### 熊谷説

大里郡奈良村(現熊谷市)の名主吉田市右衛門は、天明3年(1783)の飢饉の際、倉が焼けたので焼き米を出して地元民に与えた。その後江戸の菓子商を呼び、これ(焼き米)を用いた干菓子を作らせたところ、五家宝を創案した。

### 熊谷の銘菓 五家宝が作られたわけ

焼き米を使って菓子作りをした吉田市右衛門(むねたか)のお話です。



<https://youtu.be/Je2fBDgQAmc>